

# 特別支援教室だより

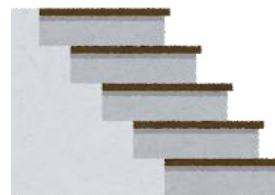
令和8年9月吉日  
巡回拠点大杉東小学校  
特別支援教室通信

今年度の「特別支援教室だより」では、「楽しくなければ学校じゃない!」という本校の学校経営方針に合わせ、学校生活の土台となる「家庭」や「学級」でも楽しく過ごす経験をより多く積んで欲しいと考え、巡回指導教員が楽しめる遊びについて紹介いたします。



## 【 今回の遊び 】

### ワードアップ



この遊びは、決めた文字で始まる言葉を、1文字ずつ増やしながら順番に答えていく言葉遊びです。文字数を間違えたり、言葉が出なくなったりすると負けになります。語彙力や発想力を楽しみながら鍛えられるゲームです。

## 【 遊び方 】

1. 頭文字を決めます。
2. その文字で始まる言葉を、1文字ずつ増やしていきます。
3. 一文字ずつ増やしていき、答えが出なくなるまで続けます。
4. 頭文字を変えたり、言葉が出なくなったりしたらおわりです。

## 【 例 】

〈 頭文字「あ」の場合 〉

- ・「あめ」(2文字)
- ・「あかり」(3文字)
- ・「あさがお」(4文字)
- ・「アブラムシ」(5文字)

## 【遊び方の工夫】

### ○文字数だけを増やす

頭文字は揃えずに、文字数だけを増やしていきます。制限がゆるくなることで、文字数だけを意識でき、より長い言葉を考えることができます。

「例」：「め」→「にじ」→「さかな」→「コーヒー」→「しんぶんし」→「すいぞくかん」・・・

### ○ジャンルを制限する

頭文字の代わりにジャンルを絞って取り組みます。そうすることで、身近な物から言葉を探したり、周囲の物に注目したりと、遊びの目的を変える事ができます。

「例」：「動物」・・・「いぬ」→「パンダ」→「ライオン」→「アライグマ」・・・

### ○制限時間を設けて、協力して取り組む

制限時間以内に、家族や友達と協力して文字数と同じ数の言葉を考えます。頭文字は揃えず、2文字の時は言葉を2つ、3文字の時は言葉を3つ答えます。家族や友達と相談しながら、できるだけ早く条件に合う言葉を考えましょう。協力することで、助け合いながらより多くの言葉にふれることができます。

「例」：「3分以内に5文字の言葉まで答えよう!」

「みち、かき」(2文字を2つ)→「たんぼ、マスク、つみき」(3文字を3つ)→「たけうま、かみなり、やきゅう、さんすう」(4文字を4つ)→「じどうしゃ、きつねいろ、カレンダー、さつまいも、チャーハン」(5文字を5つ)  
⇒ クリア!

また、思いつかなかった文字数の言葉を調べることで、語彙力を高めることにもつながるので、ぜひ試してみてください。

本校には5名の巡回指導教員がいます。「特別支援教室」について、ご質問がございましたらご連絡ください。

また、本校のホームページに「特別支援教室だより」のバックナンバーも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ホームページのQRコードはこちら

